

令和7年度浜松学院大学入学者選抜試験 A日程【英語】出題趣旨

本学地域共創学部の入学者選抜試験の英語の出題趣旨：

本学のアドミッション・ポリシーとして「コミュニケーション能力の向上に意欲を持ち、創造性豊かで行動力のある者」を受け入れ、入学後には「多様なコミュニケーション能力」を高めることをカリキュラム・ポリシーとして学生に促している。

それゆえ、英語の入学者選抜試験においては、そうしたポリシーに基づいて、問題文には日常的な英語表現を用いている。入学前の学習で、それぞれの状況に応じた語形変化も含めて必要十分な語彙を習得できているか、さらには、構文、慣用表現といった英語話者の発想を適切に理解し、そこから話者の心情を読み取ることができるかを問う出題をしている。

各問題の出題趣旨：

問題Ⅰ（１）～（５）

人称、時制、品詞、慣用表現等に関連した適切な単語を適切な語形で用いることが習得できているかを問う。

問題Ⅱ（６）～（１０）

文脈に応じた語形変化や、用いるべき品詞、慣用表現の理解を含めて、適切な単語の使用を習得できているかを問う。

問題Ⅲ（１１）～（１３）

基本的な語彙、文法の知識を基に、日常表現が理解できるかを問う。

問題Ⅳ（１４）（１５） 会話の自然な流れを理解し、話者の心情が読み取れるかを問う。

問題Ⅴ（１６）（１７） 文章を読み解き、文脈に適した語彙を選択する力を問う。

文章のテーマ

社会問題の解決を目的として起業する大学生（social entrepreneurs）についてである。本文では、近年、大学生の価値観の変化や、メディア・YouTubeなどの影響により、環境問題、貧困、教育の公平性といった社会課題に取り組むために起業する学生が増えていることが述べられている。さらに、その一方で、資金不足などの課題があること、日本では大学の支援がまだ十分ではないことも指摘されている。